

いよいよかながわでフードバンクが動き出します

フードバンクかながわ設立準備会 座長
 神奈川県生活協同組合連合会 代表理事会長
 生活協同組合ユーコープ 代表理事理事長 當具 伸一

3月11日(日)に一般社団法人フードバンクかながわの設立総会をおこない、4月から具体的に動き出します。準備に約4年をかけましたが、改めてこの経緯、意義・目的、今後の抱負について述べさせていただきます。

◇立ち上げの経緯

2015年9月に、「経済格差を背景に困窮状態にある市民の自立を地域の諸資源の連帯で支援するしくみを、県内の非営利協同組織による運動連帯＝社会的連帯経済によってつくることできないか」という問題意識で「マイクロクレジット研究会」を立ち上げ1年間検討を続けてきました。もちろん、この前史としては、神奈川における協同組合間連携の歴史・協同組合と労働福祉団体の協同の歴史がありました。

1年間の論議の中で、当初掲げた問題意識は重要だが、「マイクロクレジット」を具体的にすすめるのはいろいろな障害があり難しいので、考え方は大切にしながら、具体的なモデルとしてフードバンクを共同でつくりましょう！となりました。「マイクロクレジット研究会」は一旦しめ、「非営利・協同による(仮称)フードバンクかながわ検討会」を立ち上げ、様々な調査・検討を重ねました。そして2017年3月、具体的な準備にかかるために「(仮称)フードバンクかながわ設立準備会」を立ち上げ、1年間かけて今回の設立にいたしました。粘り強く準備に関わっていただいたみなさんに感謝いたします。

◇フードバンクかながわの意義・目的

「(仮称)フードバンクかながわ」では、フードバンクを創る目的を以下の3つとしました。

- (1) 生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人々の食のセーフティーネットをめざします。
- (2) フードバンク活動を通して、地域のたすけあい・支え合いを実現します。
- (3) 食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かします。

「もったいないをありがとうに」という言葉がよく言われるように、各地のフードバンクは、(1)と(3)を強調するところが多いですが、私たちはあえて、(2)を目的にいれました。それは、「協同組合」にとっても「労働福祉団体」にとっても、地域社会のなかでの役割が今日的な課題として、おおきくクローズアップされているからです。また、「協同組合」「労働者福祉団体」「市民団体」といった、「非営利・協同セクター」が地域社会の一員として、地域社会の問題解決に役割を果たすこと。そして、市場原理主義とは異なった、オルタナティブな道を地域の中で示すことが、現代社会の中では、何より大切だと思うからです。

◇今後の抱負

かながわの地で中間組織としての「フードバンク」が小さな一歩を踏み出します。出来るだけ早く、神奈川全域にひろげ、少しでも多くの方の役に立ちたいと思いますし、その過程で、困窮者支援をしている、行政・社会福祉協議会・支援者団体とのネットワークを緊密にし、ソーシャルキャピタルとしての役割を果たすことが出来ればと思っています。

そして、「フードバンクかながわ」の実践を通じて、「協同組合」・「労働者福祉団体」・「市民団体」がさまざまな形で手をつなぎ合って、地域社会の中で大きな役割を果たす存在になっていく。そのことをかながわの地から全国に発信していきたいと思っています。

まだ、小さな一歩ですが、みなさんの力もお借りしながら、大きな流れを創る一歩になればと思っています。

(とうぐ しんいち)

【問い合わせ先】

フードバンクかながわ (3月20日以降、常駐予定)
 TEL 045-349-5803 FAX 045-349-5804
 < 3月19日までは県生協連 TEL 045-473-1031 >